

2020年2月19日 全7頁

Indicators Update

2020年1月貿易統計

輸出数量は2ヶ月ぶりに減少、EU・アジア向けが押し下げ

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄大郎
シニアエコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 2020年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.6%と減少したもののコンセンサス（同▲7.0%）を上回った。季節調整値で見ると、前月比▲3.7%と3ヶ月ぶりに減少した。輸出金額は数量の減少を主因として、18年半ばから減少基調が続いている。
- 1月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲6.0%と2ヶ月ぶりに減少した。地域別に見ると、米国向け（同+1.5%）は増加したものの、EU向け（同▲7.0%）、アジア向け（同▲9.3%）は減少した。アジア向けの減少は春節が早く、1月の休日数が多かったことも影響している可能性がある。
- 先行きの輸出数量は、短期的には新型肺炎の影響によって中国向けを中心に減少が見込まれる。その後も世界経済減速の影響が見られる中、足踏みが続くとみている。地域別に見ると、アジア向けは新型肺炎の影響が落ち着き次第緩やかに回復することが見込まれる。他方、EU向けは減少基調、米国向けは横ばい圏で推移するだろう。

図表1：貿易統計の概況

		2019年									2020年 1月
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
原系列 前年比 %	輸出金額	▲7.8	▲6.6	▲1.5	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	▲2.6	
	コンセンサス									▲7.0	
	DIRエコノミスト予想									▲8.1	
	輸入金額	▲1.4	▲5.2	▲1.1	▲11.9	▲1.5	▲14.7	▲15.6	▲4.9	▲3.6	
	輸出数量	▲8.9	▲5.5	1.6	▲6.0	▲2.3	▲4.4	▲5.0	▲1.9	▲1.6	
	価格	1.2	▲1.2	▲3.1	▲2.4	▲2.9	▲5.0	▲3.1	▲4.6	▲1.0	
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	▲1.2	▲3.2	6.7	▲6.1	6.8	▲6.1	▲8.1	1.2	▲1.3	
	価格	▲0.2	▲2.0	▲7.3	▲6.2	▲7.7	▲9.2	▲8.2	▲6.0	▲2.3	
	貿易収支(億円)	▲9,702	5,875	▲2,523	▲1,457	▲1,283	128	▲875	▲1,546	▲13,126	
	輸出金額	▲4.5	4.5	▲0.6	▲2.9	1.3	▲2.2	0.1	0.3	▲3.7	
	数量	▲7.7	5.8	1.5	▲4.5	▲0.5	1.8	▲2.9	4.1	▲6.0	
	価格	3.4	▲1.2	▲2.0	1.7	1.9	▲3.9	3.1	▲3.6	2.4	
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	▲0.1	▲2.7	1.7	▲3.4	0.8	▲1.9	▲0.0	0.6	▲1.8	
	数量	3.1	▲6.9	7.8	▲5.3	2.1	▲2.0	▲3.7	3.5	▲0.3	
	価格	▲3.0	4.5	▲5.7	2.0	▲1.3	0.0	3.8	▲2.8	▲1.5	
	貿易収支(億円)	▲4,723	▲32	▲1,508	▲1,123	▲777	▲928	▲867	▲1,072	▲2,241	
	税関長公示レート	111.07	109.05	108.00	107.21	106.69	107.77	108.76	108.95	109.30	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

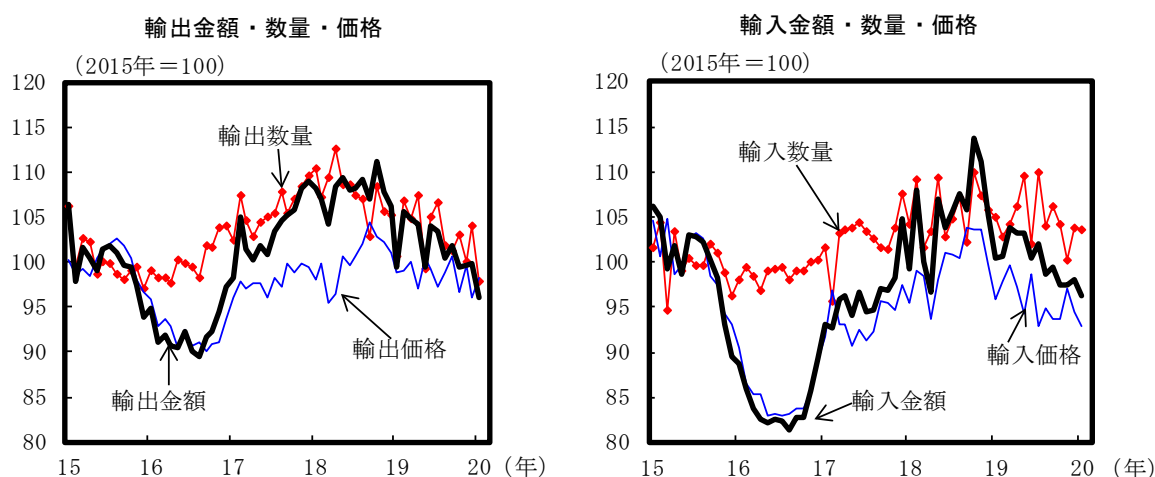
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

【貿易金額】 コンセンサスを上回るも、輸出金額・輸入金額ともに減少基調が続く

2020年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.6%と減少したもののコンセンサス(同▲7.0%)を上回った。季節調整値で見ると、前月比▲3.7%と3ヶ月ぶりに減少した。輸出金額は数量の減少を主因として、18年半ばから減少基調が続いている。

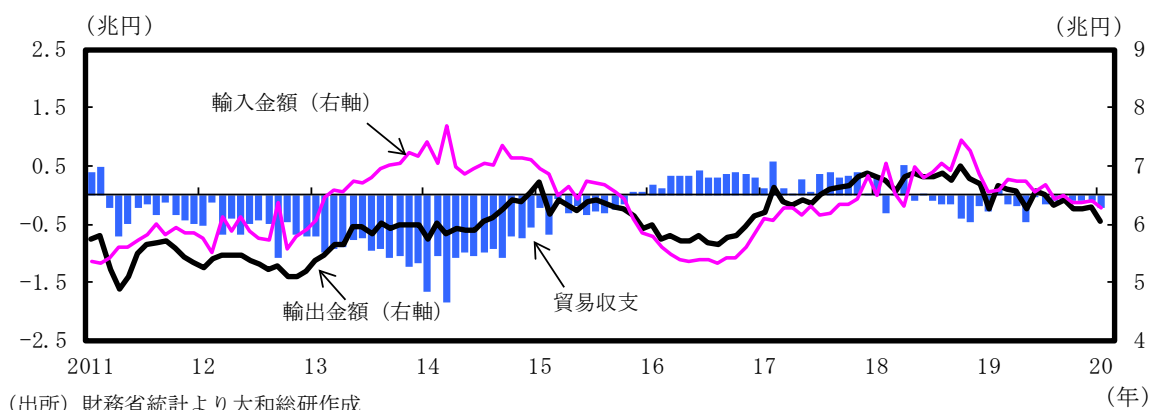
輸入金額は前年比▲3.6%と9ヶ月連続で前年割れとなった。季節調整値で見ても前月比▲1.8%と2ヶ月ぶりに減少した。18年10月以降、輸入金額は価格の低下を主因に減少傾向にあったが、19年半ば以降は輸入数量の減少も押し下げている。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表3：輸出金額、輸入金額、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】2ヶ月ぶりに減少、EU・アジア向けが押し下げる

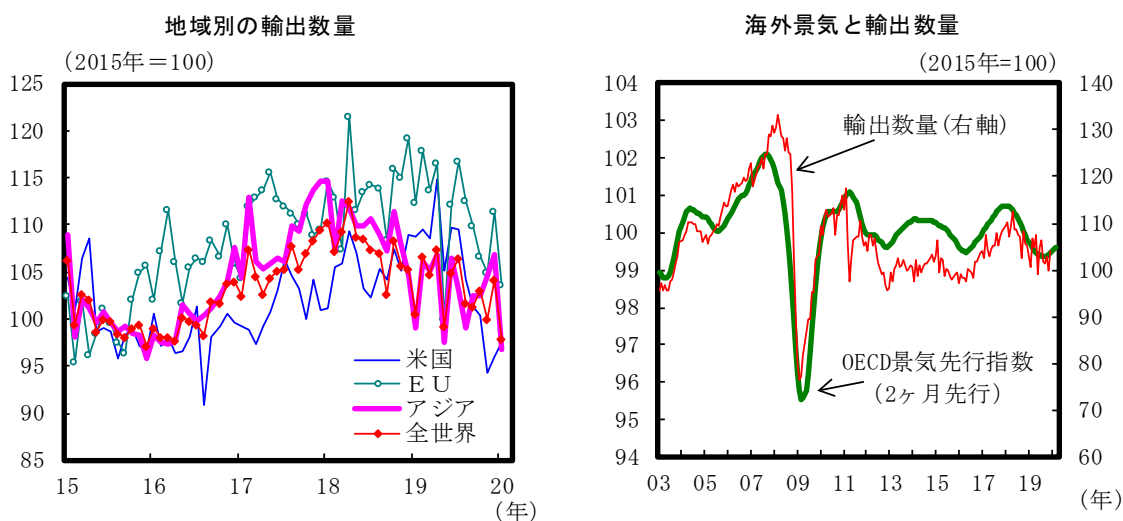
1月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲6.0%と2ヶ月ぶりに減少した。地域別に見ると、米国向け（同+1.5%）は増加したものの、EU向け（同▲7.0%）、アジア向け（同▲9.3%）は減少した。米国向けは2ヶ月連続で増加した。アジア向けに関しては、春節が早く（中国の春節休暇は19年：2月4日～10日、20年：1月24日～30日（後に2月2日まで延長））、1月の休日数が多かったことも影響している可能性がある。

地域別・品目別に1月の動きを見ると、米国向けは自動車の部分品や電算機類などが増加した。他方、ウエイトの大きい乗用車は19年3月をピークに減少基調にあったが、10月以降は横ばい圏で推移している。

EU向けでは、乗用車が大幅に減少した。加えて、鉄鋼や原動機なども減少に寄与した。乗用車は19年7月以降減少基調にあったが、1月は一段と水準が低下した。欧州の消費が停滞する中、日本からの輸出も減少傾向が続いている。

アジア向けは、半導体等製造装置や電算機類、自動車の部分品が全体を押し下げた。資本財、中間財を中心に減少が見られ、春節による工場の稼働停止の影響が表れたとみられる。アジア向け輸出は、他地域よりも早く調整局面を迎えたこともあり、19年8月以降、半導体関連が全体をけん引する形で増加傾向にある。しかしながら、2月以降、後述する新型コロナウイルスの影響によって、アジア向け輸出も下押し圧力を受ける可能性がある。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【トピック】 新型肺炎による輸出への影響

1月の中国向け輸出には、新型肺炎の影響がほとんど表れていない。新型肺炎は1月下旬から本格的に流行したが、企業は春節休暇（当初は1月24日～30日）を見越して1月中旬までに輸出したためである。1月に新型肺炎の影響を受けたのは、1日（1月31日）のみと考えられ、影響が本格的に発現するのは2月となる。

春節休暇は2月2日まで延長されたものの、多くの企業は2月9日まで休暇を延長しており、10日以降に工場を再開した企業も稼働率を下げているケースが見られることから、2月分の中国向け輸出は中間財、消費財を中心に大幅に落ち込むだろう。また、中国向け輸出比率の高いASEANなどのアジア向けの輸出についても、サプライチェーンの混乱に伴い輸出の減少が見込まれる。

【見通し】 輸出数量は足踏みが続く

先行きの輸出数量は、短期的には新型肺炎の影響によって中国向けを中心に減少が見込まれる。その後も、世界経済減速の影響が見られる中、足踏みが続くとみている。

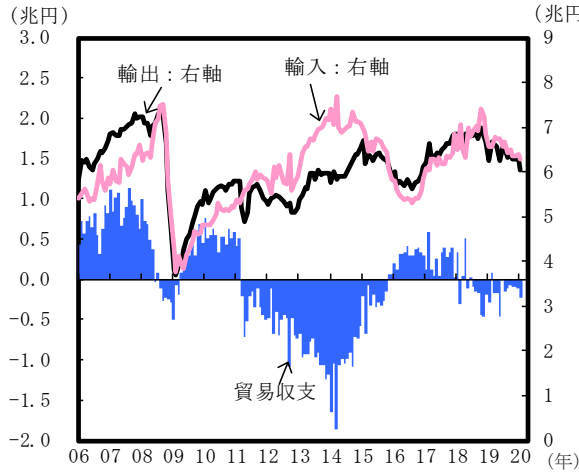
地域別に見ると、アジア向けは新型肺炎の影響を受け、2月は減少することが見込まれる。未だ事態の収束の目途が立たず、輸出に与える影響がどの程度続くのか見通せない状況が続いているが、早期収束に向かえば輸出も回復に向かうだろう。アジア向けの輸出は相対的に半導体等電子部品のウエイトが大きい。世界の半導体販売額が底入れに伴い、アジア向けの半導体等電子部品の輸出が全体を押し上げる要因となろう。

EU向けについては、減少基調が続くだろう。ドイツや英国は18年半ばごろから景気減速が鮮明となっており、今後も内需の減速を受け、弱い動きが続くとみられる。また、ドイツは欧州内でも中国向け輸出比率が高く、新型肺炎による中国経済減速の影響を受けやすい。今後、消費や生産活動が持ち直してくれば、EU向けの輸出も回復してくるだろう。なお、1月31日に英国がEUから離脱したことを受け、貿易統計も2月分からEU向け輸出入から英国が除外される点には留意が必要である。

米国向けは横ばい圏で推移するだろう。足下では、自動車の輸出に弱さが見られるものの、堅調な雇用・所得環境や消費マインドなどを背景に、個人消費は底堅く推移すると見込んでいる。米中摩擦に関しては、一次合意に達したことを受け、2018年から始まった貿易摩擦の激化はいったん落ち着いた。これまで、貿易摩擦に対する懸念の高まりから設備投資を先送りする動きが見られていたが、企業マインドの改善し、設備投資に前向きになれば、米国向けの資本財の輸出も増加する可能性がある。

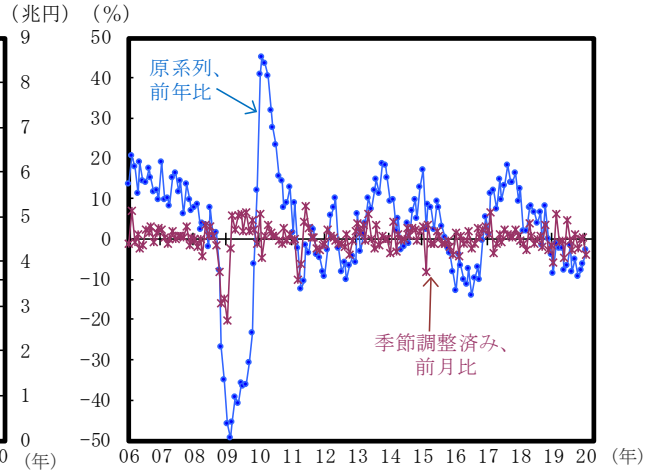
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

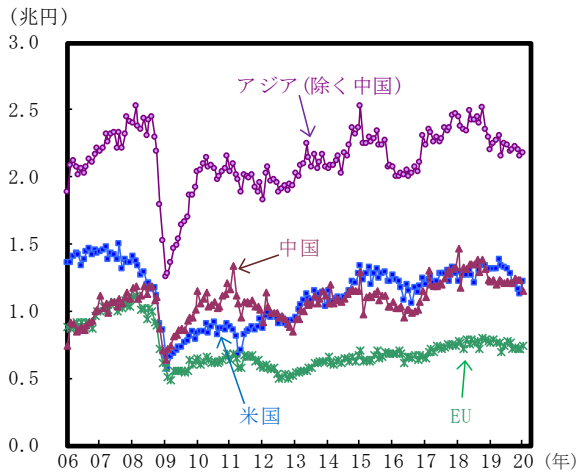


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

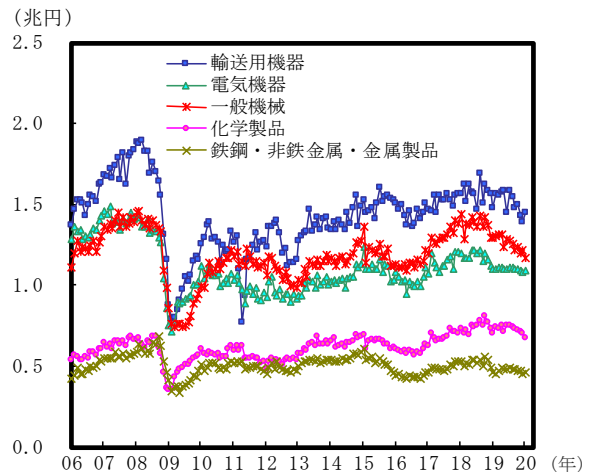


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

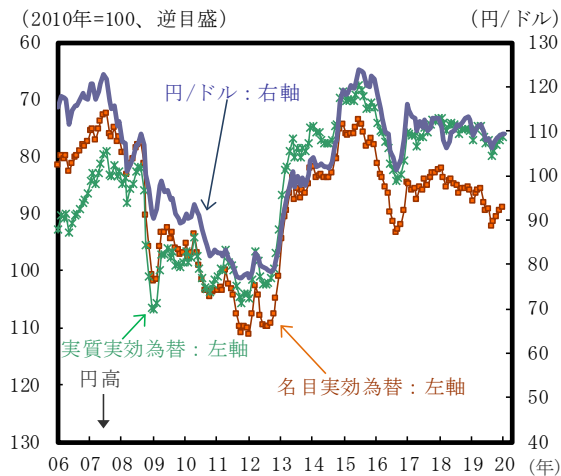


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

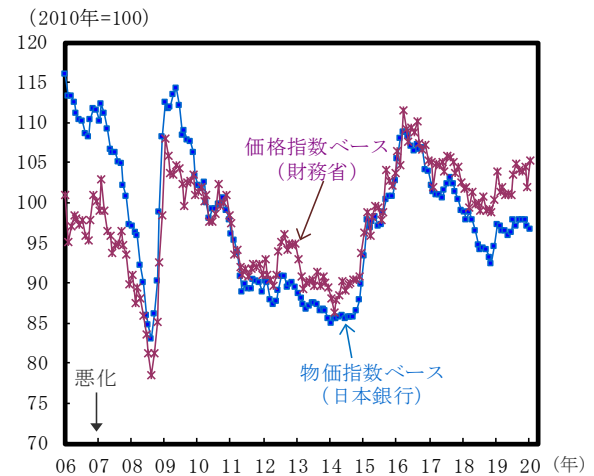


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.2	▲5.2	▲9.2	▲7.9	▲6.3	▲2.6	100.0	▲2.6
食料品	▲3.5	▲5.3	▲5.1	1.2	1.9	▲5.5	0.9	▲0.0
原料品	▲12.2	▲11.0	▲16.6	▲15.6	▲17.2	10.9	1.4	0.1
鉱物性燃料	▲6.2	▲16.9	14.1	10.1	▲8.7	▲5.0	2.2	▲0.1
化学製品	▲5.1	▲2.1	▲9.7	▲7.4	▲4.8	▲4.5	11.7	▲0.5
原料別製品	▲11.0	▲3.8	▲13.3	▲11.1	▲9.1	▲1.9	11.0	▲0.2
鉄鋼	▲13.6	▲0.4	▲16.7	▲18.2	▲13.3	▲4.1	4.2	▲0.2
非鉄金属	▲10.0	▲2.7	▲10.7	▲0.3	1.4	14.1	2.0	0.2
金属製品	▲8.5	▲9.0	▲13.7	▲7.9	▲10.1	▲3.2	1.5	▲0.0
一般機械	▲12.3	▲11.2	▲12.9	▲12.0	▲6.2	▲9.5	17.7	▲1.8
電気機器	▲8.1	▲4.7	▲8.3	▲5.3	▲3.3	▲1.1	17.2	▲0.2
半導体等電子部品	▲2.7	4.0	0.6	▲0.3	2.6	1.4	5.6	0.1
I C	▲0.5	9.1	3.6	▲1.3	3.9	4.3	4.0	0.2
映像機器	▲5.3	▲11.9	▲9.8	▲13.0	▲17.5			
映像記録・再生機器	▲8.2	▲14.8	▲8.8	▲12.6	▲14.8	▲2.5	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲10.5	▲15.1	▲19.3	▲13.8	▲3.1	▲14.7	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲14.5	▲12.7	▲13.6	▲11.7	▲5.6	▲1.1	2.3	▲0.0
輸送用機器	▲8.2	▲2.7	▲7.4	▲9.7	▲10.7	▲2.1	24.5	▲0.5
自動車	▲7.2	▲1.9	▲9.6	▲7.0	▲11.8	▲4.7	15.4	▲0.7
自動車の部分品	▲13.6	▲14.7	▲11.3	▲8.8	▲10.9	▲4.2	4.7	▲0.2
その他	▲2.0	▲2.3	▲6.3	▲1.5	▲0.8	5.8	13.3	0.7
科学光学機器	▲7.4	▲10.9	▲10.9	▲4.1	2.1	0.1	2.7	0.0

米国向け輸出金額 内訳								
	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.4	▲7.9	▲11.4	▲12.9	▲14.9	▲7.7	100.0	▲7.7
食料品	▲5.3	0.9	4.9	▲4.7	▲4.7	▲9.8	0.7	▲0.1
原料品	▲22.7	28.4	▲8.8	34.2	0.4	70.3	0.8	0.3
鉱物性燃料	9.6	157.2	1397.4	▲21.1	▲12.0	▲9.7	0.3	▲0.0
化学製品	4.9	0.2	▲5.3	4.2	▲13.7	▲6.8	8.2	▲0.5
原料別製品	▲7.1	▲2.0	▲8.7	▲2.9	▲10.6	▲4.9	6.5	▲0.3
鉄鋼	▲2.9	13.3	▲19.7	▲23.1	▲25.1	▲34.8	1.1	▲0.5
非鉄金属	▲2.8	21.0	▲5.9	9.8	▲18.6	20.4	0.8	0.1
金属製品	▲7.9	▲11.8	▲3.9	13.1	10.1	19.7	1.9	0.3
一般機械	1.3	▲5.9	▲4.8	▲14.1	▲10.3	▲9.0	22.3	▲2.0
電気機器	▲8.8	▲7.7	▲15.9	▲10.1	▲12.6	▲2.7	13.9	▲0.4
半導体等電子部品	▲12.6	▲11.1	▲11.7	▲17.5	▲15.0	▲8.5	1.4	▲0.1
I C	▲15.1	▲16.5	▲10.9	▲18.3	▲16.9	▲3.1	0.7	▲0.0
映像機器	13.6	▲7.9	▲4.9	11.1	▲8.0			
映像記録・再生機器	7.5	▲11.6	▲9.7	10.0	▲4.9	8.5	0.6	0.0
音響・映像機器の部分品	55.1	▲7.5	▲26.1	▲16.5	▲30.5	▲26.6	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲3.5	▲10.2	▲13.1	▲14.2	▲14.3	▲5.2	1.4	▲0.1
輸送用機器	▲11.7	▲14.8	▲17.1	▲16.9	▲20.0	▲14.9	36.3	▲5.9
自動車	▲13.0	▲15.7	▲17.7	▲17.1	▲21.4	▲18.5	26.5	▲5.5
自動車の部分品	▲11.9	▲16.2	▲12.9	▲18.9	▲20.4	1.4	6.1	0.1
その他	9.0	▲0.8	▲13.8	▲15.4	▲13.0	13.5	11.0	1.2
科学光学機器	18.3	2.7	▲10.7	▲10.2	▲14.1	5.9	2.2	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.3	▲0.5	▲8.4	▲7.9	▲8.1	▲1.9	100.0	▲1.9
食料品	8.9	23.9	▲13.6	▲11.3	4.3	26.0	0.4	0.1
原料品	0.2	▲14.2	▲7.3	▲9.1	▲2.8	▲16.1	0.8	▲0.1
鉱物性燃料	▲31.6	12.1	▲52.8	43.3	64.1	▲92.1	0.1	▲0.8
化学製品	▲3.8	5.8	0.2	▲5.6	▲7.5	15.2	11.6	1.5
原料別製品	▲5.2	▲6.0	▲14.6	▲12.9	▲9.6	▲11.9	5.3	▲0.7
鉄鋼	10.7	4.2	▲29.7	▲6.7	30.7	▲43.4	0.5	▲0.4
非鉄金属	▲13.6	▲9.5	▲10.9	▲18.8	▲4.4	21.2	0.8	0.1
金属製品	3.7	▲5.8	▲8.1	▲14.8	▲29.1	▲11.8	1.2	▲0.2
一般機械	▲12.4	▲15.1	▲20.3	▲19.8	▲16.9	▲16.1	20.0	▲3.8
電気機器	▲6.7	▲7.6	▲14.5	▲11.0	▲9.8	▲6.7	16.0	▲1.1
半導体等電子部品	▲14.7	▲11.4	▲14.0	▲7.7	▲7.3	▲5.6	2.0	▲0.1
I C	▲28.3	▲17.6	▲19.0	▲12.5	▲12.7	▲19.9	0.8	▲0.2
映像機器	▲10.6	▲10.3	▲12.0	▲33.0	▲19.8			
映像記録・再生機器	1.0	▲17.9	▲12.1	▲34.6	▲15.9	▲19.7	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	1.0	34.3	6.8	25.6	22.4	▲1.5	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	▲14.5	▲15.7	▲26.4	▲19.7	▲11.3	▲13.4	1.5	▲0.2
輸送用機器	0.9	21.3	5.8	9.2	▲5.2	▲4.3	26.2	▲1.2
自動車	10.3	41.5	12.8	11.7	▲4.4	▲15.8	15.0	▲2.8
自動車の部分品	▲2.6	▲4.9	▲5.2	16.9	▲3.5	▲1.4	5.9	▲0.1
その他	23.5	▲2.0	▲5.0	▲13.5	2.7	28.6	19.8	4.3
科学光学機器	7.0	▲4.1	▲15.2	▲9.2	▲8.6	▲4.7	2.8	▲0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.9	▲7.8	▲11.2	▲5.7	▲3.6	▲3.2	100.0	▲3.2
食料品	▲3.2	▲8.4	▲6.1	1.9	3.2	▲7.8	1.1	▲0.1
原料品	▲12.4	▲15.0	▲19.3	▲20.7	▲20.1	9.0	2.1	0.2
鉱物性燃料	3.3	▲33.0	▲15.0	11.1	▲9.5	28.9	2.7	0.6
化学製品	▲7.3	▲4.1	▲12.0	▲8.9	▲2.7	▲7.8	15.5	▲1.3
原料別製品	▲13.9	▲7.4	▲15.1	▲13.5	▲10.1	▲3.9	14.0	▲0.5
鉄鋼	▲19.7	▲7.9	▲18.4	▲20.5	▲16.0	▲6.8	5.6	▲0.4
非鉄金属	▲12.0	▲7.3	▲13.6	▲5.5	0.0	9.9	3.3	0.3
金属製品	▲7.1	▲7.4	▲13.2	▲9.6	▲10.7	▲9.0	1.6	▲0.2
一般機械	▲16.8	▲12.9	▲13.0	▲7.0	0.1	▲6.3	17.8	▲1.2
電気機器	▲8.0	▲4.1	▲6.4	▲3.9	▲1.3	▲0.1	22.2	▲0.0
半導体等電子部品	▲1.6	5.9	1.7	1.0	4.4	2.2	9.7	0.2
IC	1.0	11.2	4.9	▲0.4	5.4	5.3	7.3	0.4
映像機器	▲25.6	▲22.2	▲12.3	▲23.1	▲27.0			
映像記録・再生機器	▲20.9	▲17.1	▲6.5	▲15.1	▲18.3	▲1.4	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲18.0	▲19.0	▲18.4	▲14.9	2.7	▲9.8	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲16.2	▲13.1	▲13.1	▲10.1	▲4.8	1.4	3.3	0.0
輸送用機器	▲13.1	▲3.9	▲15.0	▲4.8	▲15.7	▲3.6	9.8	▲0.4
自動車	▲12.9	1.0	▲15.9	▲1.0	▲4.3	7.0	5.0	0.3
自動車の部分品	▲16.8	▲22.1	▲16.1	▲11.7	▲13.7	▲12.6	3.4	▲0.5
その他	▲8.6	▲8.5	▲7.8	3.1	4.0	▲3.6	14.7	▲0.5
科学光学機器	▲14.1	▲14.3	▲9.8	▲0.5	8.8	▲0.5	3.4	▲0.0

中国向け輸出金額 内訳								
	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	2020/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲12.1	▲6.7	▲10.3	▲5.4	0.8	▲6.4	100.0	▲6.4
食料品	41.5	28.0	16.7	27.6	28.4	0.4	0.5	0.0
原料品	▲43.5	▲45.3	▲52.4	▲57.8	▲52.8	▲3.1	1.6	▲0.0
鉱物性燃料	4.4	▲46.7	10.2	▲49.4	▲44.5	▲30.5	0.7	▲0.3
化学製品	▲5.7	4.3	▲6.6	▲4.5	2.4	▲8.9	18.4	▲1.7
原料別製品	▲11.6	▲4.5	▲8.1	▲2.7	▲0.1	▲8.4	11.4	▲1.0
鉄鋼	▲15.6	▲9.9	▲17.6	▲13.3	▲1.4	▲0.9	3.9	▲0.0
非鉄金属	▲10.7	10.9	9.4	22.2	9.7	▲9.7	2.7	▲0.3
金属製品	▲7.5	▲3.5	▲6.2	▲0.6	▲3.3	▲15.8	1.7	▲0.3
一般機械	▲20.2	▲18.0	▲13.3	▲6.2	7.6	▲3.5	21.6	▲0.7
電気機器	▲10.1	▲2.3	▲9.6	▲6.5	▲3.4	▲5.6	21.7	▲1.2
半導体等電子部品	▲4.6	19.3	▲11.2	▲10.0	▲10.1	▲8.2	8.1	▲0.7
IC	▲2.6	27.9	▲13.6	▲17.2	▲17.1	▲10.0	6.1	▲0.6
映像機器	▲24.7	▲22.4	▲16.5	▲20.8	▲21.8			
映像記録・再生機器	▲13.7	▲14.2	▲4.2	▲5.8	▲6.0	39.9	0.6	0.2
音響・映像機器の部分品	▲6.7	2.6	▲10.6	▲5.9	14.5	▲24.0	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	▲20.8	▲10.3	▲14.5	▲12.2	▲2.8	1.2	3.5	0.0
輸送用機器	▲15.3	▲10.7	▲14.4	5.4	9.7	5.8	11.4	0.6
自動車	▲0.1	16.4	▲7.4	34.4	36.3	32.0	6.6	1.5
自動車の部分品	▲27.9	▲31.6	▲21.1	▲16.4	▲11.5	▲17.8	4.6	▲0.9
その他	▲4.6	4.4	▲4.8	0.9	4.4	▲14.9	12.7	▲2.1
科学光学機器	▲17.9	▲10.6	▲12.6	▲0.4	14.9	▲2.6	5.6	▲0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成